抗 CCP 抗体

抗 CCP 抗体とは：

抗環状シトルリン化ペプチド(cyclic citrullinated peptide: CCP)抗体(ACPA)は上皮細胞に存在するフィラグリンのシトルリン残基を認識する抗体です。抗 CCP 抗体は関節リウマチに特異性の高い抗体であり、関節リウマチの診断だけでなく、診断確定前に関節リウマチの発症を予測することもできます。抗 CCP 抗体陽性の関節リウマチでは骨破壊の進行が速いことも知られており、関節リウマチの治療法を決める上でも重要な検査です。

抗 CCP 抗体の感度と特異度：

関節リウマチにおける抗 CCP 抗体の感度は 60～80%、特異度は 90～95%以上と言われています。早期関節リウマチでは感度は下がるものの特異度は高く、関節症状がありかつ抗 CCP 抗体が陽性である患者においては関節リウマチ、あるいは早期関節リウマチである可能性が高いと言えます。

検査時の注意点：

関節リウマチに関連する特殊検査については、診療報酬の上で細かな規則がありますので、検査を行う際には注意が必要です。

- 抗 CCP 抗体，MMP-3，抗ガラクトース欠損 IgG 抗体，免疫複合体（C1q），免疫複合体（モノクローナル RF），IgG 型リウマチ因子，免疫複合体（C3d）のうち 2 項目以上を併せて実施した場合には，主たるもの 1 つに限り算定されます。
- 抗 CCP 抗体を診断に用いる場合、関節リウマチと確定診断できない者に対して診断の補助として検査を行った場合に、原則として 1 回のみ算定されます。ただし、検査結果が陰性だった場合は、3 月に 1 回算定可能です。
- 抗 CCP 抗体を治療選択に用いる場合、患者 1 人につき 1 回のみ算定されます。ただし再度治療薬を選択する必要がある場合には、3 月に 1 回に限り算定できます。

専門医への相談のポイント：

何らかの関節症状があり、かつ抗 CCP 抗体が陽性の患者を診た場合には、専門医へ相談することが推奨されます。

本情報は、患者さん及び一般の皆様への一般的な情報提供を目的として掲載しています。個別の病状、診断又は治療に関しては、必ず医師その他の適切な医療専門職にご相談ください。
なお、本情報の著作権は日本リウマチ学会に帰属し、営利目的による利用並びに無断転載、複製、改変、切除又は加工を禁止します。